

## 2015 年 感染防止対策室業務活動報告

感染管理認定看護師  
荒木大輔  
感染防止対策室室長  
宮尾則臣

2012 年に開設された感染防止対策室は 4 年目を迎え、職種横断的な活動が積極的に行われている。感染対策チーム (以下、ICT) はメンバー (写真 1) を増員することで、各職種の役割を十分に発揮し、院内の感染対策に大きく貢献している。

今年度は 3 月末に 3 階西病棟でノロウイルスのアウトブレイクを経験した。病棟をはじめ院内各部署との連携や保健所との協力を通じ無事終息に至ったが、病棟を閉鎖し対応したことは初めてのことであり、様々な課題も多く残った。

今年度の目標としては、針刺し切創・粘膜皮膚曝露 (以下、針刺し等) の発生件数減少を第一に掲げた。周知ポスターの毎月発行や各種委員会での報告体制を強化し、効果が表れている。さらに、ICT ラウンドでは手指衛生が正しいタイミングで実践できているかに注目し、スタッフへの質問や行動の確認を強化した。手指衛生の重要性がさらに浸透し、手洗い講習会の参加者の増加や MRSA・緑膿菌の発生率も減少傾向が続いている。(図 1)

地域ネットワーク活動では、連携施設からのコンサルテーション件数も増加し、良好な関係が継続して築けている。また、西胆振だけではなく、苫小牧地区の各施設とも会合を開き、情報交換をする中で、さらなる地域での感染対策のボトムアップを実感している。



写真 1 ICT メンバー

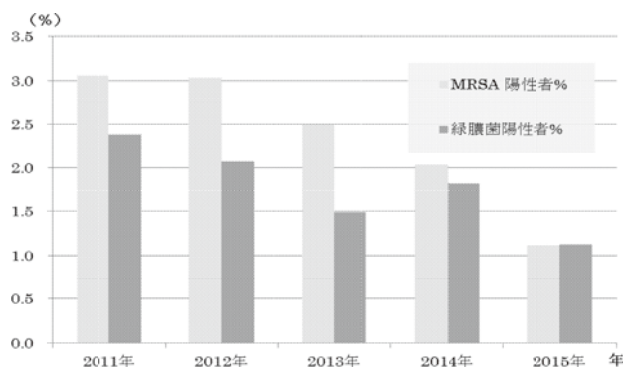


図 1 MRSA・緑膿菌の陽性者率の推移

感染防止対策室の使命である、「病院を利用する全ての人にとって安心・安全な環境を提供する」ため、来年も継続して職員一丸となって、針刺し等の発生件数減少と正しいタイミングでの手指衛生の実践を軸に感染対策が遂行できるよう役割を發揮していきたい。

### 2015年の主な活動状況

#### 1. ICT ラウンド (写真 2、3)

週 1 回水曜日に全ての部署を対象にポイントを決めて巡視し、感染対策マニュアルの遵守状況を確認している。今年度は特に手指衛生について強化しラウンドを行った。

#### 2. コンサルテーション (図 2)

今年度の主な相談件数は 395 件で、昨年よりやや増加した。ノロウイルスのアウトブレイクやクロストリジウムディフィシルのマニュアル作成によりそれぞれ問い合わせが増加したのが特徴である。主に所属長からの問い合わせが多いが、スタッフからの相談も増えており、感染対策に対する職員意識の高さがここからも読み取れる。

#### 3. 手洗い講習会 (表 1、写真 4)

手洗い講習会は外部委託職員、保育所の園児を含む約 1000 人を対象とし、毎年実施している。今年度は開催回数を増やすことで、より多くの職員の参加がみられた。今年度も修了者には修了証シールを配布している。



写真2、3 ICT ラウンドの様子

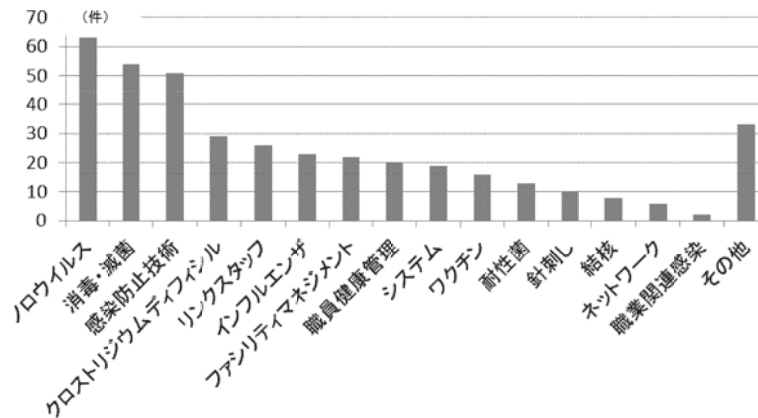


図2 主なコンサルテーションの内訳

表1 手洗い講習会実施人数

	日程	受講者
第1回	10月26日	275名
第2回	11月10日	284名
第3回	12月8日	191名
その他		124名
合計		873名

#### 4. リンクスタッフ活動発表会 (表2)

実践現場での感染予防活動の推進・改善を進めていくために、看護局、放射線科、リハビリテーション科、栄養科の20部署に1名ずつ配置している。主な活動である活動発表会は2年目を迎え、自部署の感染対策上の問題解決に大きく貢献するとともにリンクスタッフ自身の成長につながっている。

#### 5. 西胆振感染対策地域ネットワーク (表3、4、5)

今年も継続して、感染防止対策加算2を算定する大川原脳神経外科病院、加算未算定の室蘭太平洋病院、そうべつ温泉病院と連携し、カンファレンスを開催し活発な情報交換を行った。また、16施設が集まる合同カンファレンスのテーマは「手指衛生の現状と課題」であり、アルコール消毒液の払い出し量から1患者1日当たりの使用量を計算しディスカッションした。このデータはICTニュースを通し、当院職員にも周知させることができ非常に有効なものであった。



写真4 手洗い講習会の様子

表2 リンクスタッフ活動発表会 プログラム

部 署	演 題 名
3 東	サクシヨンの PPE 着用の習慣化への取り組み
3 西	衛生管理向上に向けての取り組み～シンク周辺の汚染度調査を実施して～
4 東	物品の定期清掃の習慣化に向けての取り組み
4 西	針捨て BOX 使用ルールの意識付け
5 東	メディウォッシュの清潔を保つために
5 西	看護スタッフの感染対策への取り組み～サクシヨンの手技の統一を目指して～
6 西	酸素加湿器の細菌繁殖状況を調査して
2 南	サクシヨングイヤルの汚染から考える感染対策 ～手技の改善と ATP 値の減少を目指して～
4 南	処置台・パソコンキーボードの ATP 値減少に向けた取り組み
ICU	サクシヨンの個人防護具の装着・手指衛生の徹底に向けての取り組み
HCU	サクシヨンの伴うベッド周囲の汚染状況の実態調査 ～マニュアルに沿ったサクシヨンの手技の実践と効果～
中央手術室	ゴミ分別マニュアルを作成して
心臓血管外科外来	速乾性手指消毒剤使用量のアップのための工夫
内科外来	基本票ファイルの汚染度調査から外来での感染対策を考える
人工透析室	適切な PPE 着脱と手指消毒への取り組み
放射線科	放射線科の環境衛生への取り組み～更なる意識向上を目指して～
リハビリテーション科	訓練道具・備品の汚染度調査～昨年より幅を広げて～
栄養科 (厨房)	厨房内の汚染状況調査と職員の衛生意識の向上

表3 西胆振感染対策地域ネットワーク参加施設

	1	2	3	4
加算1算定	市立室蘭総合病院	製鉄記念病院	日鋼記念病院	伊達赤十字病院
加算2算定	大川原脳神経外科病院	洞爺協会病院 洞爺温泉病院	JCHO 登別病院 登別すずらん病院	聖ヶ丘病院
未算定	太平洋病院 そうべつ温泉病院		三村病院 三愛病院	ミネルバ病院 豊浦国保病院

表4 地域ネットワーク合同カンファレンス

回	開催日	テ ー マ
全体開催	3月 2日	抗菌薬適正使用に関する各施設の取り組み その2
	6月 8日	手指衛生の現状と課題
小グループ開催	9月 18日	尿道留置カテーテル管理
	12月 4日	針刺しの現状と課題

表5 地域相互ラウンド

回	開催日	内 容
第1回	10月 30日	当院が伊達赤十字病院5階病棟をラウンド
第2回	11月 19日	伊達赤十字病院が当院5階西病棟をラウンド

6. 院内研修会 (表6、7 写真5、6)

院内研修会では職員出席率の増加を目指し、テーマの決定や研修会の方法を工夫し、参加人数は増加した。特に院内感染対策委員会主催研修会では外部講師を招き、院内だけではなく連携施設からの参加も多くある中、最新の感染対策の情報を得ることができた。

7. その他の活動記録 (表8、9)

今年も ICT ニュース、先に記した針刺しレポートを定期的に発行し、最新のトピックスをリアルタイムにアナウンスすることができた。

また、新規導入では昨年の血液培養採血時の針刺しが増加したため、分注ホルダーを採用した。さらに日常的によく使用する針捨て BOX やノロウイルスにも効果があるとされているアルコール消毒剤を採用すること

表6 ICT勉強会の記録

回	開催日	テーマ	演者	参加者数
第1回	3月24日	抗菌薬を理解しよう	吉嶋 邦晃	81名
第2回	6月5日	ノロウイルスアウトブレイク総括	荒木 大輔 原 和香子 早坂ゆかり 小川 真代	144名
第3回	8月4日	CDマニュアル誕生	宇野 智子	104名

表7 院内感染対策委員会主催研修会の記録

回	開催日	テーマ	演者	参加者数
第1回	3月6日	①患者安全は医療感染予防から：エビデンスに基づいた感染予防 ②ニードルレスコネクタに関連するカテーテル関連血流感染リスク要因の現状と課題	北海道医療大学 看護福祉学部 教授 塚本 容子 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科感染看護学専攻 原 理加	113名
第2回	10月23日	最近話題のウイルスによる重症感染症	苫小牧市立病院副院長 河内 正治	184名



写真5、6 院内感染対策委員会主催研修会の様子

表8 ICT Newsの記録

発行月	タイトル
1月	インフルエンザ警報
3月	ICT ラウンド結果発表
4月	ノロウイルス警報 ノロウイルス警報継続中
6月	正しいタイミングでの手指衛生
10月	インフルエンザワクチンを受けましょう その1 インフルエンザワクチンを受けましょう その2

表9 マニュアル改訂等

マニュアル改訂	3. 感染対策の手技 ディフィシル	15. 一般的な手技における注意 (E. 血液培養の採血方法)	26. クロストリジウム
新規導入	針捨てBOXの変更	血培分注ホルダーの採用	アルコール手指消毒剤ウイルステラVジェルの導入
その他	MERS受け入れ体制準備・マニュアル作成 手指衛生のタイミングポスター掲示		

---

で、より一層の感染対策の充実を図ることができた。今後も職員の声聴きながら、コスト面も考慮し検討していきたい。

### 学会発表・院外活動

1. 荒木大輔，野作信幸，宮尾則臣：手術室における針

刺し切創・粘膜皮膚曝露減少への第一歩，  
第30回日本環境感染学会（2015年2月20日 神戸）

2. 荒木大輔：手術室における針刺し切創・粘膜皮膚曝露減少への第一歩，第6回日本感染管理ネットワーク北海道支部研修会（2015年11月7日 札幌）